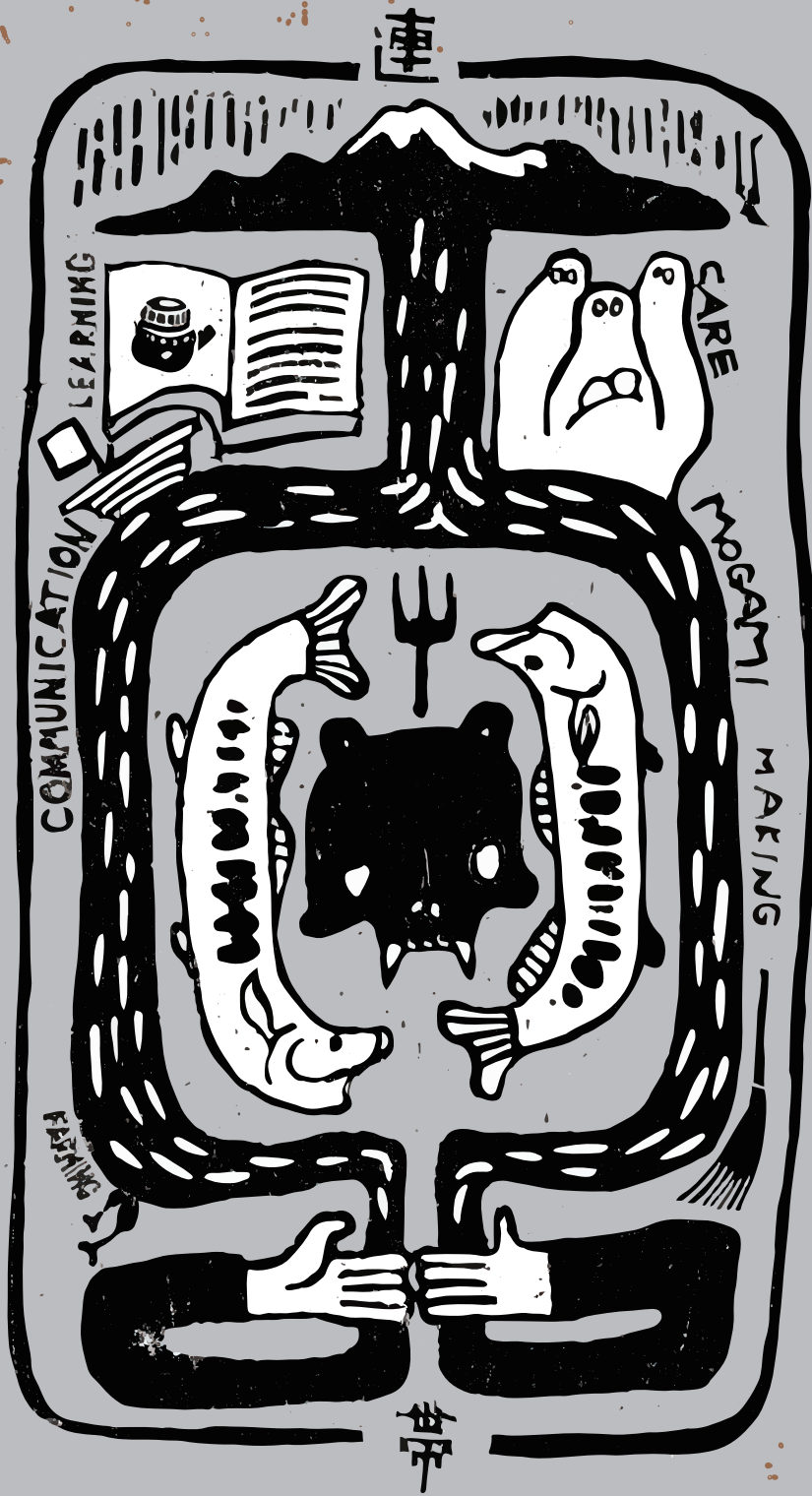


未来、もしくは 架空の 長井のこと



佐々瞬

SASA SHUN

私たちの暮らし
どうなる？

2022 9.27^{Tue} ~ 11.13^{Sun}

丸大扇屋 10:00~17:00 (LAST 16:30) 入場料：無料
休館日：月曜日休館 (祝日の場合は開館し、翌日休館)、9月30日 (月末休館)

動物、縄文、暴走ロボット、幽霊 様々な視点でみる長井の未来

かつて舟運は、長井に経済だけでなく文化的な交流も生み出してきました。交通が代わり、情報化が進み、舟運時代とは大きく価値観が変容した現代で、文化交流の機会を創出すべく、アーティストレジデンスが始動しました。また、本企画は、(一財)文教の杜ながいが今年度から掲げるテーマ『新たな文化的価値の創造』を共有し、文化財を守りながら新たな活用を模索する試みです。



現代アート作家の佐々瞬が、約一ヶ月間の滞在の中で、変わりつつある生態系を見つめ、文教の杜や友の会と芸術の存在意義を考えます。成果発表となる本展では、出会い、発見、逡巡を経て、フィクションを織り交ぜながら、未来の長井をかたちにします。現代を生きるアーティストと共に、私たちの暮らしと長井のこれからを考えてみましょう。

佐々瞬 SASHI SHUN

1986年宮城県生まれ。

2009東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。東京造形大学卒業。現在、仙台を拠点に活動。「過去/未来」の出来事や記憶を、常に更新され続け得るものとして扱い、「今」をあらゆる可能性へと切り拓く試みを一貫しておこなう。近年は東日本大震災で半壊した宮城県沿岸部・新浜の住宅を借り受け、アーティストや建築家らを招聘する、ごくプライベートなレジデンスプログラムなど企画する傍ら、2015年にスタートした追廻地区の研究を継続するなど、地域に根ざした活動を行っている。



2019

AVAT x GalleryTurnaround国際交流展_宮城藝術的奇異点(台湾)
パフォーマンス「ある家の行方」blanclass@仙台(宮城)

2020

個展「公園/ローカルの流儀」ギャラリーターンアラウンド(宮城)
「アカルイカテイ」広島市現代美術館(広島)
佐々瞬作品展「泳ぎまわるあなたへ」たまきさんサロン(宮城)
「現代地方譚7」すさきまちかどギャラリー(高知)
個展『売店「男、店を開く準備をしている」』仙台フォーラス(宮城)

2021

「現代地方譚8」すさきまちかどギャラリー(高知)
「ナラティブの修復」せんだいメディアテーク(宮城)

